

令和2年度
「中小企業の診断及び助言に関する実務の事例Ⅰ」の出題の趣旨

第1問（配点40点）

（設問1）

老舗蔵元 A 社を買収する段階で、買収側企業グループのトップマネジメントが、どのようなビジョンを描いていたかについて、分析する能力を問う問題である。

（設問2）

買収側企業の被買収側企業に対する条件提示の意図について、理解して分析する能力を問う問題である。

第2問（配点20点）

買収された後の A 社が、買収以前の事務処理を情報システム化する際に、どのような手順を踏んだのかについて、理解して説明する能力を問う問題である。

第3問（配点20点）

主たる販売方法がルートセールス方式から直販方式に変更される際に、営業担当に求められる能力が、どのように変化するのかについて、分析する能力を問う問題である。

第4問（配点20点）

企業グループのトップマネジメントとして、グループ全体の人事制度確立の方法について、助言する能力を問う問題である。

以上